

## 朝日カルチャーセンター 野外の自然観察

### 「深緑の湖畔歩き・グリーンシャワーを浴びて」

6月25日（金）晴れ 参加者12名

当初の計画では18日に佐賀県基山町の大興善寺へ行く予定でしたが、コロナによる緊急事態宣言が出された福岡県から県境を越えていくのは躊躇われるので、観察地を変更し、日程も緊急事態宣言が解除になってから、午前中で終了するという事にしました。

そこで決めた目的地は久山町の久原ダム。しかし予備調査で歩いてみると、あれこれ観察しながらではとても午前中では終わらないと判断し、近くの「新堤」という池を周回するコースに変更しました。

いろいろと予定の変更や、コロナワクチンの接種日程の兼ね合いなどで参加者は少なかったのですが、こもればの林の中をじっくりと植物を見ながら歩くことが出来ました。

ネムノキ コナラ クヌギ ノグルミ ニガキ ハゼノキなどの落葉樹の大木、カゴノキ ヤマモモ ナナミノキなどの常緑樹の大木、ヤマコウバシ イボタノキ クロミノサワフタギなどの低木、恐ろしいほどのトゲをまとって高い木の上まで這いあがっているジャケツイバラ、咲き始めのシャシチャンボやトウネズミモチの白い花。ナツフジのつぼみ。べたべたとくっつくオニルリソウの青い残り花。



池の土手では夏草の中で強烈なオレンジ色のヤブカンゾウ。ネジバナのピンクもかわいらしい。ヘラバヒメジョオンも群生して咲いて、特定外来生物のナルトサワギクの黄色とコラボしています。

池を一周1時間半。梅雨真っ只中とは思えない爽やかな緑陰散策を楽しみました。

担当 薛 溝口（記）